

# 教職員指導・説明用資料

# (中学・高校生)

中学生・高校生用資料は、ネットいじめ・トラブルの対処法と生徒をとりまく依存について記載しています。未然防止の観点から説明をしてください。

## 【オモテ面】

- ① **慎重な文章づくりの話をしてください。**勘違いされるような表現がないか、送信する前にもう一度読み直してみることでトラブル防止につながることを教えてください。
- ② 「こんなひどい人がいるから多くの人にこの情報を拡散させて」といった拡散希望メールは情報の真偽がわからないだけでなく、ネット上で広げることが問題です。また、「同じ内容のメールを友達10人に送って」といった場合は、チェーンメールを送られた人が迷惑することに気づかせ、**自分が止めることで誰かが嫌な思いをしたり傷ついたりせず**にすむことを教えてください。
- ③ 誰かが書いた悪口で傷つく人や不快に思う人もいます。見つけたとき、保護者や先生に伝えることはいじめ防止の第一歩です。**ネットパトロールは誰にだってできることを気づかせてください。**また、閉ざされたグループ内の話だからと悪口を書き込んだりすることは、それ自体がいじめであることに気づかせてください。
- ④ **ネットで知り合った人とは絶対に会わないよう指導してください。**連絡を取り合っている人が女の子と思っていたら、実はオジサン。写真を見て格好いいと思っていたら、全然別人なんてこともあります。
- ⑤ インターネットは多くの人が見ていることを忘れていませんか。不適切な情報発信を不快に感じる人は少なくありません。**このような情報発信を「しない」「させない」「見逃さない」指導をしてください。**
- ⑥ **文章・写真・動画の情報発信には責任**が伴います。勝手に友達の写真を掲載したり、ふざけた動画や画像をネット上にアップしたりするものでないことを指導、**その行動は自分の将来のためにもならない**ことを教えてください。また、好きな人に頼まれ下着姿や裸の写真を送ってしまい、画像が悪用されたり拡散されたりする例も多いことを知らせ被害に遭わない指導をお願いします。

## 【ウラ面】

- 客観的に自分を見つめるためにもネット依存チェックリストで診断をさせてください。  
「はい」が3項目以上ある場合はネットの使用時間を制限するなど、適度な利用を心掛けるよう指導してください。
  - ネットゲームのし過ぎは、「視力の低下」「寝不足」「遅刻増加」「睡眠障害」「集中力の低下」など多くの弊害につながることを教えてください。
  - 「インターネット依存」の中高生は全国で推計51万8千人（平成24年度厚生労働省調べ）に上るそうです。「依存症」にならないためにもインターネットの適度な利用を心掛けるよう説明してください。
- ・ 困ったときに相談できる連絡先について生徒に教えておきましょう。
  - ・ 市町村立の学校は所管の市町村教育委員会の電話番号を記入させ、県立学校は088-621-3138・3143。また、学校の電話番号も記入するよう指導してください。